

第110回

日本陸上

競技選手権大会・混成競技
JAAF Athletics Championships
Combined Events

ナンバーワンだけが、
見られる景色がある。

第110回

日本陸上

競技選手権大会・混成競技
JAAF Athletics Championships
Combined Events

兼 愛知・名古屋 2026 アジア競技大会 日本代表選手選考競技会

GIFU 2026

競技注意事項 5.27掲載

第110回
日本陸上 競技選手権大会・混成競技
JAAF Athletics Championships
Combined Events
第42回U20日本陸上競技選手権大会・混成競技
兼 愛知・名古屋 2026 アジア競技大会 日本代表選手選考競技会

GIFU 2026
2026.6.6^{SAT} - 7^{SUN}
会場：岐阜メモリアルセンター長良川競技場

ナンバーワンだけが、
見られる景色がある。

入場無料

期 日 : 2026年6月6日(土) ~ 7日(日)

会 場 : 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

主 催 : 日本陸上競技連盟

主 管 : 岐阜陸上競技協会



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

1 競技規則について

本大会は、2026年WA競技規則、日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告および展示に関する規程、並びに本大会申し合わせ事項に基づいて実施する。

2 練習場及び練習について

- (1) 大会当日のトラック競技・フィールド競技の練習は本競技場で行うが周囲に十分注意して行うこと。競技開始後は、ハードル種目のみ監督・コーチが招集完了時刻まではトラック内で指導できるものとする。なお、雷管を使用したスタート練習は禁止する。
- (2) 本競技場でのフィールド種目の練習は、競技開始30分前から（棒高跳は60分前から）行うことができる。ただし、競技役員の指示に従うこと。
- (3) 大会前日の本競技場での練習は、大会要項に記載のとおりとする。また、補助競技場および投てき練習場は前日及び当日も使用できるが、指導者の監督の下、競技役員の指示に従い安全に配慮して実施すること。

3 競技用靴について (TR5.2参照)

- (1) サークルから行われる投てき種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）を、競技用靴に関する規程（Athletic Shoe Regulations）の適用対象から除外する
- (2) World Athletics (WA) が承認したシューズリストでNoと記載されている靴については使用ができないので、各自で確認をしておくこと。
<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
- (3) 競技終了後ポストイベントコントロールエリアにて、無作為に定められた競技者を対象に、使用した靴を提示することを求めることがある。
- (4) 使用された靴に関して、審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後に提出を求めることがある。

4 競技者の招集方法について

- (1) 招集は、両日の第1種目のみ下記に示す時刻のとおり行う。集合場所は、（トラック種目：混成控室前、フィールド種目：現地）とする。ただし、U20日本選手権の円盤投については、110mHフィニッシュ後競技役員の指示に従い、直接円盤投の競技場所へ移動すること。なお、110mH集合時に、アスリートビブス、スパイク（シューズ）、バッグの中身、衣類の商標の確認と点検を受けること。110mH集合時に円盤投で使用する物についても同時に点検をするので、全て持参すること。

種目	招集及び集合開始時刻	招集及び集合完了時刻
トラック種目	競技開始予定時刻30分前	競技開始予定時刻20分前
フィールド種目	競技開始予定時刻40分前 (棒高跳は70分前)	競技開始予定時刻30分前 (棒高跳は60分前)

※競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CDプレイヤー・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。

(2) 次種目から欠場する場合は、混成競技審判長に申し出ること。その後、大会指定の欠場届を本競技場招集所付近に設けるTICに提出すること。

欠場届 (<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/2047/>)

(3) 招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場するものとして処理し、以降の種目へ出場できない。処理し、以降の種目へ出場できない。

5 アスリートビブスについて (TR5.7~11を厳守)

(1) アスリートビブスは、3枚 (胸・背・手荷物用) 配付する。

(2) すべての競技者は、ユニフォームの胸・背に折らずにつけること。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかにつけるだけでよい。

(3) トラック種目では、配付した腰ナンバー標識を左右の腰に確実につけること。

6 競技について

(1) トラック競技のレーン順は、プログラム記載順による。

(2) ハードルの高さや投てき種目の重さについては以下のとおりである。

【日本選手権】

ハードルの高さ	男子	110mH : 1.067m
	女子	100mH : 0.838m
投てき種目	男子	砲丸投 : 7.260kg 円盤投 : 2.000kg やり投 : 800g
	女子	砲丸投 : 4.000kg やり投 : 600g

【U20日本選手権】

ハードルの高さ	男子	110mH : 0.991m
	女子	100mH : 0.838m
投てき種目	男子	砲丸投 : 6.000kg 円盤投 : 1.750kg やり投 : 800g
	女子	砲丸投 : 4.000kg やり投 : 600g

(2) エントリー発表後に欠場する者は、欠場届

(<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/2047/>) に必要事項を記入し競技会前日の6月5日 (金) までに日本陸連にメール (combined@jaaf.or.jp) まで提出すること。

6月6日 (土)・7日 (日) 競技会開催中は TIC へ紙で提出すること。

届け出がなく欠場した者は本連盟及び加盟団体の主催・主管する今後の競技会に出場を認めない処置を講ずることがある。

7 競技方法について

(1) 砲丸投は、A、Bの2つのピットで実施する。組分けと試技順はスタートリストに記載の順番とする。

(2) 走高跳および棒高跳は、A、Bの2つのピットで実施する。組分けは競技者の申請により決定し、試技順はプログラム記載の順番を原則とする。競技者は、走高跳は1日目、棒高跳は2日目の最初の招集時に、希望する最初の高さを申請すること。

(3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

【日本選手権】

種目	練習	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
男子走高跳	任意の高さ	1m75	1m78	1m81	1m84	1m87	1m90	1m93	3cmずつ上げる
女子走高跳	任意の高さ	1m40	1m43	1m46	1m49	1m52	1m55	1m58	3cmずつ上げる
男子棒高跳	任意の高さ	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	10cmずつ上げる

【U20日本選手権】

種目	練習	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
男子走高跳	任意の高さ	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	1m75	1m78	3cmずつ上げる
女子走高跳	任意の高さ	1m40	1m43	1m46	1m49	1m52	1m55	1m58	3cmずつ上げる
男子棒高跳	任意の高さ	3m00	3m10	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	10cmずつ上げる

(4) 日本選手権とU20日本選手権十種のやり投の開始時刻は競技日程を基本とするが、棒高跳が早く終了した競技者でグループ編成し、開始時間をずらして行う場合がある。先に開始するグループの競技者と開始時刻は、アナウンスや混成競技係から連絡する。

(5) 100m、100mH、110mHについては、**競技開始30分前までに**使用する走方向を発表する。

(6) 十種競技の最終種目1500mは、9種目終了時点の合計得点の高い順にレーン内側から整列する。腰ナンバー標識も得点順に1からとする。

(7) 七種競技の最終種目800mの組分けとレーンについては、6種目終了時点の合計得点の高いグループを最終組とし、合計得点の高い順に1レーンから割り当てる。腰ナンバー標識はレーンナンバーと同じ数字をつける。ただし、競技者数が20名以下の場合は組み分けをしないで1組とする。

(8) 投てき種目（砲丸投・円盤投・やり投）の練習はそれぞれ2回までとする。

(9) 競技進行に遅れが生じた場合は、タイムテーブルに記載の時刻から、次の種目の開始時刻を変更する場合がある。

8. 競技用器具について

(1) 競技に使用する用器具は棒高跳用ポールを除き、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。

(2) 投てき用具については、公表された競技場備え付け用具リスト（別紙3）にないものは、持ち込みを認める。持ち込み希望者は、当該種目の競技開始90分前までにTICで検査を受けること。

ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとし、競技終了後に担当総務員がTICで返却する。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任を負わない。

(3) フィールド競技のマーカ―は主催者が用意するもののみ使用することができる。

9. 競技場への入退場について

招集所からの競技場への入場および競技終了後の退場は、競技役員の指示による。

10. 表彰について

- (1) **1位～3位の競技者の表彰**は、正面スタンド下で行う。競技者はチームウェアを着用する。
(暑いときはTシャツも可) なお、競技終了後に競技役員が誘導する。
- (2) 1位の競技者にはカップ、賞状とメダル、2位、3位の競技者には賞状とメダル、4位～8位までの競技者には賞状を授与する。
- (3) 各種目の1位の競技者には、各種目終了直後に各種目の競技場所付近インタビューと記念品の贈呈を行う。

11. 更衣室及び選手控え所について

- (1) 競技者控室は、本競技場1階雨天走路横に用意する。なお、控室にはコーチADでの入室・立ち入りを禁止とする。ADカードは、出場競技者1人に1枚を配付、コーチADは出場競技者1人につき2名配布する。
- (2) 更衣室内のシャワー室は、混成競技係に申し出て使用すること。ただし、2日目競技終了後の使用は禁止する。更衣後の荷物は各自で管理すること。
- (3) 貴重品は各自で保管すること。紛失・盗難について万一の事故があっても主催者は責任を負わない。また、**ごみの後始末は各自で行うこと。**

12. ドーピング・コントロールテストについて (大会要項のとおり)

13. 練習会場と日程 (別項)

14. 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては、違反している個所にマスキングテープ等を貼って対応する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。医務室は本競技場1階に設置する。
- (4) 届けられた遺失物についてはT I Cで保管する。保管期間は6月7日競技終了までとする。
- (5) 記録はその都度発表するが記録用紙等の掲示はしない。大会ホームページに随時アップする。
- (6) 「記録証明書」を希望する競技者は、T I Cに500円を添えて申し込むこと。
- (7) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の掲出、展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」に基づく。

15. その他

- (1) プログラムに誤記がある場合には、1日目9時までに、T I Cへ申し出ること。
- (2) ポールの輸送を希望する者は、各自で配送を事前手配したうえでT I Cに申し出ること。

必ず着払い伝票をはって発送すること。(発払いでの対応は不可)

搬出日は必ず6月8日(月)午前中に指定すること。(午後は不可)

※直前では集荷依頼ができない場合があるので 余裕をもって手配をすること。

(3) 本競技会は、選手および観客、審判・関係スタッフの安全を考慮し、地震、台風、雷、荒天や、猛暑(暑さ指数(WBGT)が31度以上の場合)は、大会を中断または中止することがある。また、環境省のサイトに掲載されるWBGTの予測値を確認し、競技開始直前に競技日程を変更する(前倒しや後ろ倒し、競技順を入れ替える)こともある。

(4) フィールド種目のコーチ席について

スタンドのコーチ席の他、グラウンドレベルの一部にコーチエリアを設ける。コーチ席およびコーチエリアにはコーチAD着用者のみ入ることができる。

大会当日エリアを調整する場合もあるため、その場合は主催者の指示に従って移動すること。

2か所のコーチエリアを移動する場合は、バックスタンド側のダグアウトを通過して移動すること。

※ダグアウト通行中(コーチエリア外)は競技者との接触は不可。

別紙2: 『練習会場での注意事項』: 混成競技

- 1 練習は下表により指定された場所、時間帯で、事故防止に十分配慮して行うこと。特に投てき練習の際には監督・コーチ立ち会いのもと安全に留意して行うこと。なお、練習中に発生したけが等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- 2 練習場所、練習時間は、天候・状況によって変更や制限をする場合がある。
- 3 練習会場では、競技役員の指示に従って練習をすること。
- 4 競技者は練習会場への入場の際はADカードを明示すること。監督・コーチは会場内で常にADカードが確認できるよう携行すること。

【練習会場使用日程】

会 場	種 目	6月5日(金) 前日練習日	6月6日(土) 第1日	6月7日(日) 第2日
メ イ ン 競 技 場	トラック	10:00~16:00	7:30~9:00	7:00~8:30 9:20~10:00
	バック ストレート		9:00~10:30	8:30~10:40
	走高跳 (Bゾーン)		7:30~8:30	
	棒高跳 (Bゾーン)	10:00~16:00		7:30~8:30
	走幅跳	10:00~16:00	7:30~8:30	7:30~8:30
	砲丸投 (Aゾーン)	10:00~16:00		
	円盤投 (Aゾーン)	10:00~11:30 13:30~14:30		
	やり投 (Aゾーン)	11:30~13:00 14:30~15:30		

【補助競技場の練習会場使用日程】

会 場	種 目	6月5日(金) 前日練習日	6月6日(土) 第1日	6月7日(日) 第2日
補助競技場	トラック	10:00~16:00	7:30~18:00	7:30~18:00
	走高跳	10:00~16:00	7:30~15:00	×
	走幅跳	10:00~16:00	7:30~16:00	7:30~11:00

※棒高跳、投てき種目：器具を使つての補助競技場での練習は行うことはできない

別紙3：投擲器具常備一覧表

砲丸 7.26kg	現有数	NISHI品番	WA承認
ニシ 鉄製 男子用 Φ120.0mm	2	F251A	○
ニシ 鉄製 男子用 Φ125.5mm	3	F251	○
ニシ 鉄製 男子用 Φ129.0mm	8	F251C	○

砲丸 6.0kg (U20)	現有数	NISHI品番	WA承認
ニシ 鉄製 男子用 Φ117.0mm	12	F291	○

砲丸 4.0kg	現有数	NISHI品番	WA承認
ニシ 鉄製 女子用 Φ103.0mm	4	F253	○
ニシ 鉄製 女子用 Φ109.0mm	7	F253C	○

円盤 2.0kg	現有数	NISHI品番	WA承認
ニシ スーパー 男子用	6	F301B	○
ニシ スーパーハイモーメント 男子用	4	F331A	○
デンフィー ユルゲンシュルツ 男子用	1	C741	○

円盤 1.75kg (U20)	現有数	NISHI品番	WA承認
ニシ スーパー 男子用	5	F304B	○
ニシ スーパーハイモーメント 男子用	5	F334	○

やり 800g	現有数	NISHI品番	WA承認
ニシ スーパーDR 80m	3	F453E	○
ニシ Hybrid Genome X	2	NF458	○
ネメト クラシック 90m	2	NC828	○
ネメト クラシック 85m	2	NC829	○
ノルディック エアグライダー flex6.1 男子用	3	C760A	○
ノルディック オービット flex6.6 男子用	2	C761A	○
ノルディック チャンピオン flex6.4 男子用	1	C762A	○
ノルディック スーパーエリート800 flex6.8 男子用	1	C763A	○

やり 600g	現有数	NISHI品番	WA承認
ニシ スーパーDR 70m	4	F463F	○
ノルディック ダイアナ80m 女子用	1	C771C	○
ノルディック ダイアナ70m 女子用	2	C772C	○
ノルディック ダイアナ60m 女子用	3	C773C	○
ノルディック ダイアナ50m 女子用	1	C774C	○
ノルディック スター50m 女子用	1	C775C	○
ニシ Hybrid Genome X	2	NF466	○
ノルディック ダイアナ flex6.2 女子用	2	C771D	○
ノルディック ダイアナクラシック flex7.2 女子用	1	C773D	○
ノルディック ダイアナNXS flex7.2 女子用	1	C773E	○
ノルディック ダイアナクラシック flex7.7 女子用	2	C774D	○
ノルディック スーパーエリート flex7.0 女子用	1	C775D	○
ネメト クラシック 80m	2	NC835C	○
ネメト クラシック 75m	2	NC836C	○